

**横浜市立三ツ沢小学校 平成30年度 体育・健康プラン**  
**～体育・健康に関する指導の全体計画～**

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

#### 学 校 経 営 中 期 取 組 目 標

○学校教育目標の「三ツ沢の子」の実現に向けて、活力と魅力にあふれた学校づくりを目指します。

- ・ 基礎基本の定着を図ると共に、問題解決の過程を大切にした教育活動を工夫し、互いに考えを深め合い粘り強く学び続ける姿勢を育てます。
- ・ 子どものよりよい成長につながる豊かな体験（実感を伴った活動）を求め、人・まち・自然に働きかける学習を大切にした教育実践を進めます。
- ・ 教職員が相互に啓発・連携して、活気にあふれ、組織的・機能的に対応できる学校組織の確立を目指します。
- ・ 学校運営評議会による学校評価を活かし、学校、家庭、地域が連携して子どもの成長を支える「まちと共に歩む学校づくり」を進めます。

### (2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

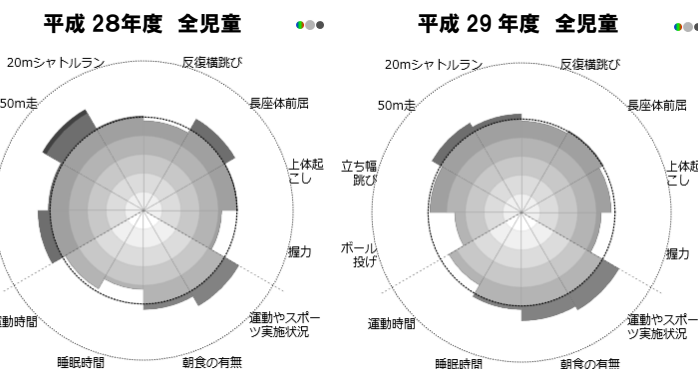
重点取組分野	取 組 目 標	具 体 的 取 組
<b>健やかな体</b>	健康に関心をもち、自ら健やかな心や体を育む子どもを育てる。 一校一実践運動を継続的に取り組み、外部連携も図りながら食体力の向上を図る。	①「長縄」への取組と共に、学校保健委員会を中心にした全校で「手洗い」への取組、体力テストの結果を踏まえた体力向上プランでの具体案の提案などを行う。 ②PTAとの連携を図り、「早寝、早起き、朝ご飯」カード、「歯磨き」カードに取組み、意識の向上を図る。 ③栄養教諭との連携により、食育の充実を図る。
担当	教務部	

## 2 体育健康に関する実態把握

### (1) 体育・健康に関する実態

- ・ 朝食の摂取率は、「毎日食べる」と回答している児童が9割以上おり、昨年度と同等の値が維持されていた。
- ・ 1日の平均運動時間の割合は1時間程度の子どもの最も多いが、30分未満の子どもも全校で5割弱という結果があり、体を動かす児童とそうでない児童との二極化が表れている。

### (2) 体育の概要と要因の分析



新体力テストの結果では、昨年度に比べると、握力については昨年度の数値も平均値は下回っており、依然として投能力に関わる運動の経験は少ないといえる。運動スポーツの実施状況や朝食の有無については、比較的高いことから、健康や運動についての食育を含めた取り組みの効果が実を結んだと言える

### 3 体育・健康に関する具体的取組

#### 教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・保健・安全計画、食教育、体育的行事及び児童会活動、保健学習等の機会を有効に設定し、健康に関する意識の高まりを目指す。
- ・『できた』『わかった』と子どもが自覚し、そのためにどんな学び方をしたのかを子ども自身が振り返ることができる授業展開の実践。

《他教科での取組》

○食育の充実

- ・給食試食会の実施
- ・早寝・早起き・朝ごはんの奨励

#### 道徳・特活・総合

- 目標設定と実現に向けた健康・体力向上
- ・運動委員会を中心とした、投能力を高めることに特化した運動集会
- ・学校保健委員会を中心とした、年間を通したよい姿勢をとることの励行
- ・集会委員会が企画した、異学年で行う『なかよしグループ』での遊び

#### 課外活動

- ・朝鮮初級学校との交流に向けての朝練習（朝鮮初級学校運動会 UHOUHOカップ交流試合）
- ・ノーメディアチャレンジ
- ・家族健康会議

#### 平成30年度 三ツ沢小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 体育行事の充実

《ねらい》 運動の機会の確保、教員の指導力の向上

《内容》 体育的行事を運動委員会(児童)が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。

行事例:休み時間を利用した、投能力の向上に特化した運動集会や運動委員会が企画する行事等

●指 標:①行事後のふり返り「事前取組」「満足度」

②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動・スポーツの実施時間」

